NEWS RELEASE

２０２５年９月２６日

ＦＬＡＧ排出量を含む温室効果ガス排出削減目標がＳＢＴ認定を取得

株式会社ヤクルト本社（社長　成田 裕）は、人と地球の共生社会の実現を目指す「ヤクルトグループ 環境ビジョン」の中期目標である「環境目標２０３０」（２０２５年５月改定）で設定した当社グループの温室効果ガス排出削減目標が、パリ協定※1が定める水準に整合するとして、ＳＢＴイニシアチブ※2から２０２５年８月２８日付でＳＢＴ認定を取得しましたのでお知らせします。

今回ＳＢＴ認定を取得した温室効果ガス排出削減目標は、以下のとおりです。

２０３０年度目標〔対象範囲：本社および国内外全連結子会社〕

（１）温室効果ガス排出量（スコープ１・２※3）を２０２２年度比４２％削減

（２）温室効果ガス排出量（スコープ３※3）を２０２２年度比２５％削減

（３）温室効果ガス排出量（ＦＬＡＧ※4）を２０２２年度比３１％削減

SCIENCE BASED TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

気候変動による気温上昇は、原料である農作物への影響、熱ストレスによる健康被害や労働環境の悪化など、さまざまな面でヤクルトグループの事業に影響を与えうる重要な課題であることから、今後も当社は、気候変動対応の取り組みを続け、持続可能な社会の実現を目指します。

※１ パリ協定とは、世界の気温上昇を産業革命前より２℃を十分に下回る水準に抑え、また、１．５℃に抑えることを目指す、世界的に合意された気候変動対策に対する国際的な枠組みです。

※2 ＳＢＴイニシアチブ（Ｓｃｉｅｎｃｅ Ｂａｓｅｄ Ｔａｒｇｅｔｓ ｉｎｉｔｉａｔｉｖｅ）とは、ＣＤＰ、世界資源研究所（ＷＲＩ）、国連グローバル・コンパクト（ＵＮＧＣ）、世界自然保護基金（ＷＷＦ）による共同イニシアチブであり、企業に対して科学的根拠に基づく温室効果ガス排出削減目標を立てることを支援・認定する機関です。

※3 スコープ１・２・３
温室効果ガス排出量を排出源によって分類するための枠組み
（ＧＨＧプロトコルに基づく概要）
スコープ１：自社の事業活動での燃料使用に伴う直接排出量
スコープ２：企業が外部から購入する電力・蒸気・熱に関する間接排出量
スコープ３：事業活動に関連するサプライチェーンにおける間接排出量

※4 ＦＬＡＧとは、森林、土地、農業を示す Ｆｏｒｅｓｔ，Ｌａｎｄ，ａｎｄ Ａｇｒｉｃｕｌｔｕｒｅ の頭文字を取った言葉で、土地利用変化や土地管理での排出（スコープ１・３）などが対象となります。

・「ヤクルトグループ 環境ビジョン」特設ページ
環境ビジョンに関する詳しい情報は、当社ウェブサイトの特設ページをご覧ください。
〔ＵＲＬ〕https://www.yakult.co.jp/company/sustainability/environment/vision/

以上